

アビラ

平成 28 (2016) 年 10 月 31 日
在ベネズエラ日本国大使館
附属カラカス日本人学校発行

目指す児童生徒像 よく考える子 思いやりのある子 進んでやりぬく子 強くたくましい子 日本もベネズエラもよく知る子

時よ！止まれ！君は美しい！ 日本人学校で生まれた、強い絆と奇跡の物語！ ～創立4年目の発表会②～



⑨日本語教室の発表 7人が一番関心のあるテーマで発表。



練習の成果があらわれた素晴らしい発表に、皆感動しました。



⑩「ベネズエラの紹介」「日本の紹介」流暢な日本語での紹介。



⑪「たぬきの糸車」 4人による朗読劇。心に沁みる朗読。



⑫全校西語劇「かさじぞう」貧しいが仲のよい老夫婦がいました



山中で、お腹をすかせたキツネがお地蔵様に助けを求めました



やさしいおじいさんはおばあさんが作ったお弁当をあげました



正月の用意を買うために笠を売ろうとするのですが売れません



雪に埋もれたお地蔵様に売り物の笠だけでなく自分の笠もかぶせます。



お地蔵様とキツネが恩返しに正月の食べ物を運んできました。



心優しいおじいさんとおばあさんは、皆のためにお正月の餅をつきました。



6人で演じた日本の美しい心。ベネズエラの方々にも確かに伝わりました。



今年朝から会場は超満員。歴代最高の観客数を記録しました



⑬小学部1年 ピアノ連弾「聖者の行進」「かっこう」ほか



先生と一緒に3曲を連弾。楽しい雰囲気会場に伝わりました



⑭全校合唱「wish」心をこめて、願いをこめて歌う。



6人の全校合唱は、100人以上のお客様の心を響かせました！



⑮小学部3～6年 合奏「わらべうたメドレー」懐かしい響き



⑯会場全員合唱「歎きの歌」子どもたちは全身で歎きを歌う。



会場の方々全員も歎きを歌い、会場全体が歎きにあふれました

今年の学習発表会で生まれた新しい物語は、カラカス日本人学校で、そして、ひとりひとりの心の中で、これからも続きます。この物語の主人公は、子どもたちだけでなく観客の方々、おひとりおひとりです。